

# 他地域における道路利活用事例

国土交通省 山形河川国道事務所

# ① 広域的なイベント実施

● 複数自治体の広域連携により、広範囲なエリアで一体的なイベントを開催し、広域的な周遊を促進

## ■ 地元食材を活かした道の駅間対抗食イベント (日本海沿岸東北自動車道 (由利地域 (秋田県)))

- ◆ 実施エリア
  - ・秋田県由利本荘市、にかほ市
- ◆ 実施主体
  - ・由利地域道の駅連絡会・由利地域観光推進機構
- ◆ 参加店舗数
  - ・10店舗
- ◆ 参加特典
  - ・豪華賞品が当たる抽選
  - ・特典カード
  - ・全店舗制覇した方に記念品

出典：環鳥海地域観光情報発信サイト

## ■ 道の駅をめぐるグルメコースの設定やスタンプラリー (大洲・八幡浜自動車道 (大分県・愛媛県))

- ◆ 実施エリア
  - ・四国地方全域
- ◆ 実施主体
  - ・四国地区「道の駅」連絡会
- ◆ 参加店舗数
  - ・87駅 (H31.3時点)
- ◆ 参加特典
  - ・道の駅のお土産
  - ・全店舗制覇した方に認定証

出典：四国地区「道の駅」連絡会HP

## ② 道路開通を契機としたイベント実施

● 道路開通に併せたイベントの実施により、道路が開通する事を強力にPRし、地域への誘客を促進

### ■ 東北中央自動車道 開通記念イベント (東北中央自動車道 (米沢市))

#### ◆ 実施場所

・米沢八幡原IC (開通前)

#### ◆ 実施主体

・米沢市、山形県、山形河川国道事務所

#### ◆ 実施内容

- ・セレモニー
- ・記念ウォーキング
- ・トンネル見学会
- ・ステージイベント
- ・食の振る舞い
- ・パネル展、関係団体PRブース
- ・はたらく車大集合



### ■ 東北中央自動車道開通を記念したマラソン&サイクリングイベント (東北中央自動車道 (米沢市))

#### ◆ 実施場所

・米沢市役所～米沢北IC～栗子トンネル山形側坑口 (開通前)

#### ◆ 実施主体

・東北中央自動車道マラソン実行委員会

#### ◆ 実施内容

- ・道路の開通PRを図るため、開通前の高速道路をコースとしたマラソン及びサイクリングイベントを企画し、市内外から集客
- ・高速道路をコースとするマラソン・サイクリングとして多くの注目を集め、無料の高速道路としてPRに大きく寄与

コース図



# ③ 広域的なアクティビティ創出

● 複数自治体の広域連携により、広範囲なエリアを満喫できるアクティビティを創出し、広域的な活性化を促進

## ■ 隣接地域を繋ぐサイクリングコースの設定 (大洲・八幡浜自動車道(大分県・愛媛県))

▼ 愛媛県と大分県を結ぶサイクリングコースの設定



出典：平成29年度南予地方局予算の実施状況

▼ 協議会により作成したPR動画



出典：豊予ふれ愛協議会

- ◆ 実施主体
  - ・愛媛西伊予・大分中部地域間交流促進協議会(愛媛・大分両県及び管内市町)
  - ※R2年度をもって事業完了に伴い、解散

- ◆ 主な取組概要
  - ・両県が連携したサイクリングコースの設定
  - ・コース周辺の観光拠点等も掲載したコースマップの作成
  - ・両県を繋ぐフェリーへの自転車用ピクトの敷設

▼ フェリーへの自転車用ピクト敷設



出典：令和元年度南予地方局予算の実施状況

## ■ 自治体や観光協会等の広域連携により地域の「観る」「食べる」「体験する」をテーマとした情報発信 (陸中海岸(岩手県))



- ◆ 実施主体
  - ・三陸海岸魚菜王国実行委員会
- ◆ 主な取組概要
  - ・陸中海岸エリアの魅力(観る・食べる・体験する)を広く発信



出典：魚彩王国HP

## ■ ロングトレイルコースを基盤に、よりみちマップを作成 (みちのく潮風トレイル(福島県～青森県))



- ◆ 実施主体
  - ・たかたコンテンツらぼ(陸前高田市観光物産協会を事務局に、地域住民有志等と設立)
- ◆ 主な掲載内容
  - ・ロングトレイルコース
  - ・市内の景勝地、商業施設、文化等に触れる七つの寄り道ルート

出典：陸前高田トレイルよりみちマップ

# ④ 広域的な周遊コースやテーマの創出

● 地域に潜在する文化や歴史等の資源を軸にコースやテーマを設定し、広域的な周遊を促進

## ■ クルーズ船寄港地を拠点に、道路整備を活用したオプションツアーのエリア拡大 (三陸沿岸道路・宮古盛岡横断道路 (岩手県))

### ◆ 事例の概要

・高規格幹線道路の整備により、クルーズ船の寄港を拠点とした周遊エリアが拡大

#### ▼ 三陸沿岸地域の主な観光地・ツアー実施状況



#### ■ ツアーの主な立ち寄り先



#### 【クルーズ船寄港時のオプションツアー対象エリア拡大】

(OPツアーは一般的に片道90分圏内)  
 宮古港→奇跡の一本松(陸前高田市)  
 開通前: 約130分 → 開通後: 約90分  
 (※ R3.11.20~21「にっぽん丸」寄港時のオプションツアー)

出典: 国土交通省三陸国道事務所 三陸沿岸道路等利活用懇談会資料

## ■ 秋田犬ツーリズム (秋田県)



### ◆ 実施主体

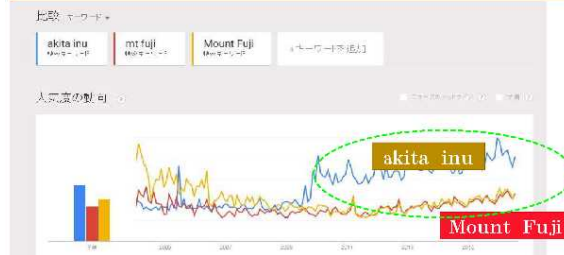
・(一社) 秋田犬ツーリズム  
 (秋田県大館市、北秋田市、小坂町の連携により設立した地域連携DMO)

### ◆ 主な取組概要

・世界的に知名度のある秋田犬を核とした地域活性化を推進  
 (マーケティング、商品開発、広報・情報発信、来訪・周遊・滞在促進)

### ▼ 秋田犬の訴求力に基づくマーケティング

「秋田犬」の人気を確認、秋田犬をフックにした取り組みを進めた



### ▼ 秋田犬と連携した商品開発

秋田犬ミルクィー 秋田の枝豆



出典: 秋田犬ツーリズムHP

## ■ “桑折宿まちなか街道” 伊達氏ルーツをめぐるツアー (福島県)



### ◆ 実施主体

・桑折町商工会  
 (福島県、宮城県等後援)

### ◆ 主な取組概要

・旧街道の宿場町と伊達氏ルーツ等、地域の歴史的資産をテーマとしたツアーの実施

出典: 桑折宿まちなか街道事務局

# ⑤ 広域的な情報発信

● 広域的な地域間で連携し、エリア全体の魅力を発信することにより、地域への来訪や周遊を促進

## ■ オリジナルマンガによる三陸沿岸道路沿線の飲食店PR (三陸沿岸道路(青森県～岩手県))



- ◆ 実施主体
  - ・三陸グルメマンガプロジェクト実行委員会 (沿線自治体の商工会議所、岩手県の連携)
- ◆ 掲載内容
  - ・漫画家が自ら対象エリアの人気店に立ち寄り、オリジナルのグルメマンガで各店舗の魅力を伝えている



出典：三陸グルメマンガプロジェクト実行委員会

## ■ 観光ドライブマップの作成及び無料配布 (東北中央自動車道(相馬～米沢)(山形県～福島県))



- ◆ 実施主体
  - ・道路沿線の商工会議所が連携
- ◆ 掲載内容
  - ・高速道路を中心に、沿線地域を結ぶ道路を分かりやすく紹介する他、各地のお祭りや観光スポット、旬な取組等を掲載



### オススメお祭り&観光情報



出典：福島商工会議所HP

# ⑥ 道の駅を拠点とした地域間連携

● 複数の道の駅が連携し、一体的な取組を行うことにより、道の駅を拠点とした周遊を促進

## ■ 地域の特産品等の相互出店（道の駅等交流事業） （大洲・八幡浜自動車道（大分県・愛媛県））

愛媛・大分交流 市町村コラボ企画



出典：大分市HP

### ◆ 実施主体

・愛媛・大分交流市町村連絡協議会  
（愛媛県側9自治体、大分県側9自治体により構成）

### ◆ 参加市町

・愛媛県側4市5町、大分県側7市（R3.9現在）

### ◆ 主な取組概要

・両県の交流市町の道の駅などがおススメする特産品を参加道の駅等で相互に販売・紹介

## ■ 6駅の連携による商品開発や独自商品を活かした周遊促進 （日本海沿岸東北自動車道（由利地域（秋田県）））

### ◆ 実施主体

・由利地域重点「道の駅」推進協議会  
（由利本荘市、にかほ市、秋田県、国土交通省秋田河川国道事務所、東北道の駅連絡会）

### ◆ 関係道の駅数

・6駅

### ◆ 主な取組概要

・観光拠点センターの整備による環鳥海広域観光情報の発信  
・6駅連携による商品開発  
・各駅の個性（独自商品）を活かした周遊促進



出典：国土交通省秋田河川国道事務所HP

## ■ 各道の駅の特産品等を紹介するガイドマップを作成 （三陸沿岸道路（岩手県））

### ◆ 実施主体

・国土交通省岩手河川国道事務所

### ◆ 掲載道の駅数

・35駅

### ◆ 主な掲載情報

・各道の駅におけるイチオシの特産品とアイスクリームを紹介



出典：岩手県「道の駅」連絡会HP

## ■ 広域的な地域の拠点となる広域道の駅の整備 （三陸沿岸道路（岩手県））

### ◆ 施設位置

・岩手県久慈市

### ◆ 主な機能、役割

・広域の魅力発進基地  
・地域のシンボル  
・4市町村内の既存道の駅や観光施設への誘導  
・地域住民の日常利用

### ◆ 主な施設

・情報発信・休憩スペース  
・広域ホール  
・物販・加工施設  
・飲食施設  
・キッズスペース  
・屋根付きイベント広場  
・子育て応援機能



出典：三陸沿岸道路等活用懇談会資料

# ⑦ 道の駅の交通結節点化

● 道の駅を交通結節点化し、様々な移動手段の提供や乗継拠点とすることで、来訪者の地域内への波及行動を促進

## ■ 空港や新幹線駅から道の駅への交通手段の提供（高速バスやレンタカー等）及びパーク&ライドの導入（日本海沿岸東北自動車道（由利地域（秋田県）））

### ◆ 実施主体

- ・由利地域重点「道の駅」推進協議会（由利本荘市、にかほ市、秋田県、国土交通省秋田河川国道事務所、東北道の駅連絡会）

### ◆ 関係道の駅数

- ・6駅

### ◆ 主な取組概要

- ・空港・新幹線駅から「道の駅」への高速バスやレンタカー等の交通手段の提供
- ・パーク&ライドの導入により、地域内のコミュニティ交通に乗り換え、「道の駅」や「地域内観光名所」を周遊できるミニ周遊観光の提供

### 由利地域 重点「道の駅」基本コンセプト(案)

(重点駅選定時の資料1/2)

- 「鳥海山」・名勝「九十九島」・「岩がき」等の資源を有する「道の駅」象潟に情報発信拠点、交通結節点を整備しゲートウェイ化。
- 環鳥海の6駅が連携し、周遊交通を確保した上で鳥海山・特産品を活かした広域周遊観光圏を形成。
- 環鳥海地域の観光情報ワンストップサービスと各駅の個性(独自商品)を活かした周遊観光の活性化を推進。

＜地方創生拠点としての機能＞	観光総合案内	インバウンド観光	産業振興
ゲートウェイ型	6駅連携による環鳥海地域、そして秋田のゲートウェイ	環鳥海地域の海外への魅力発信	鳥海山の恵みを6次産業化・観光資源化

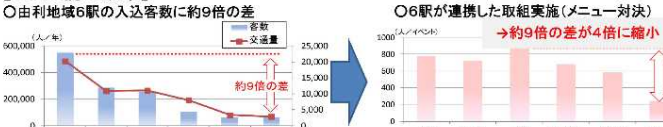


駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
象潟	秋田県	にかほ市	国道7号	既設	平成10年	一体型

### ＜道の駅象潟におけるゲートウェイ機能＞



### 【6駅連携の効果】



### ＜提案の先駆性・ポイント＞

- 環鳥海地域のゲートウェイとしてワンストップで総合観光情報の発信
- 二次交通・周遊交通の拠点化を図り、パーク&ライド等による結節点の構築
- 地域内の6駅連携による個性を活かした駅間交流と、周遊による活性化
- 各駅独自の6次産業化等の展開と競争による活性化

### ＜実施内容＞ 「道の駅」展望台から九十九島の絶景が前面に広がる

- 観光拠点センターを整備し環鳥海広域観光情報発信
- 空港・新幹線駅から「道の駅」への高速バスやレンタカーなどの交通手段を提供。パーク&ライドを導入し、地域内のコミュニティ交通に乗り換え「道の駅」や「地域内観光名所」を周遊できるミニ周遊観光を提供する。
- 6次産業化に向け、既存加工場(2駅)を活用した6駅連携による商品開発

出典：国土交通省秋田河川国道事務所HP



# ⑧ 地域外の拠点を活用した情報発信

● 都市部の拠点等で地域に関する情報発信やPRを行い、地域への来訪を促進

## ■ 気仙沼、久慈、福島情報ステーション “おかえり館”を東京・有楽町に設置 (三陸沿岸道路(福島県～岩手県))

### ◆ 実施主体

- ・気仙沼市、久慈市、福島市 (3市共同)

### ◆ 主な取組概要

- ・東京都に地域の情報発信拠点を設置し、3市の特産品販売に加え、観光スポットや移住定住に関する情報等を発信



出典：気仙沼、久慈、福島情報ステーションおかえり館HP

## ■ 三陸復興国立公園観光PRブースへの出展 (青森県～宮城県)

### ◆ 実施主体

- ・三陸復興国立公園協会 (公園区域内のうち17市町村及び民間企業) (その他、交通事業者も協力)

### ◆ 主な取組概要

- ・道路の全線開通によって繋がる3県の旅行者を誘客するためのPR活動を、各県の集客拠点にて実施
- ・関連市町村の景勝地やプロジェクトロゴマーク入りのビニール袋やチラシを作成し、配布・掲示を実施

### ▼ 出展状況



抽選会・PR活動(八戸)



アンケート・抽選会(盛岡)



三陸沿岸道路のPR(仙台)



物販ブース・ゆるキャラ(八戸)



マリナクティビティPR(盛岡)



各市町村の物販販売(仙台)

### ▼ 配布したPR用品



ビニール袋



イベントチラシ



出典：国土交通省 3.11復興道路・復興支援道路情報サイト

## ■ スキー場への誘客キャンペーン (東北中央自動車道(米沢市))

### ◆ 実施主体

- ・米沢エリアスキー場協議会

### ◆ 主な取組概要

- ・無料の東北中央自動車道 (大笹生IC～米沢北IC) の開通を契機に、福島県及び北関東からの冬の観光誘客を目指すため、地域外のスポーツ系店舗 (郡山市、宇都宮市等) においてPR活動や特産品等が当たる抽選会を実施
- ・道路の開通による利便性向上に関する内容や、無料である事等を説明し、米沢や東北中央自動車道についての印象づけを実施

### ▼ 開催風景



# ⑨ 地域への来訪手段や環境の整備

- 道路整備による移動圏域拡大等、ハード整備の効果を活用し、新たな旅行商品の創出や公共交通を新設
- ソフト面の環境を整備することにより、地域への来訪や周遊を促進

## ■ 道路整備を契機とした新たな旅行商品の創出やバス路線の新設及び改編に向けた検討 (松山外環状道路 (愛媛県))

### ◆ 実施主体

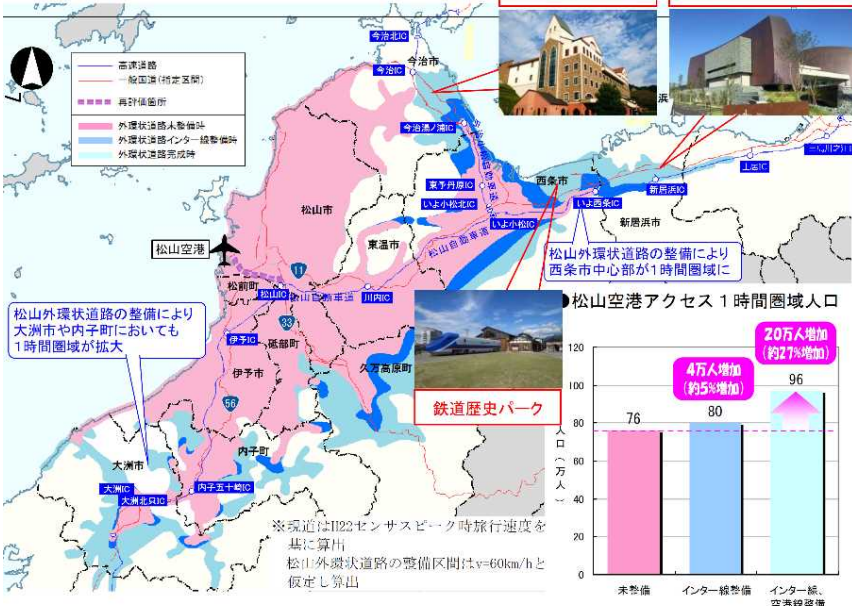
・商工会議所・観光物産協会・バス協会等

### ◆ 主な取組概要

・道路整備による1時間圏域の拡大や空港からのアクセス性向上等を活かし、新たな旅行商品やバス路線の新設や改編に取り組んでいる

## 1) ター線・空港線開通時の1時間圏域の拡大

### ● 松山空港アクセス1時間圏域の変化



出典：愛媛県高規格道路等利活用検討会資料

## ■ 高速バス路線の新設

### (中国横断自動車道尾道松江線 (広島県～島根県))

### ◆ 事例の概要

・道路整備により、都市間移動が円滑化したことにより、新たな都市間高速バス路線が新設され、公共交通サービスの利便性向上により地域間の連携が強化



### 主要都市間の時間短縮



### 交通量の増加



### 新たなバス路線の新設



・新たな路線バスの新設にあたっては、尾道松江線の整備が一因となっています。(R01バス事業者ヒアリング)

出典：国土交通省資料

# ⑩ 地域内の情報発信・案内

● 高速道路外も含めた地域一体的な案内誘導を行い、来訪者の地域内への誘導や周遊を促進

## ■ 休憩施設や観光地案内看板等への案内標識の設置 (鳥取自動車道(鳥取県))

### ◆ 実施主体

・鳥取道路利活用推進協議会構成員(国土交通省中国地方整備局、鳥取県、岡山県、兵庫県、その他沿線市町、西日本高速道路(株))

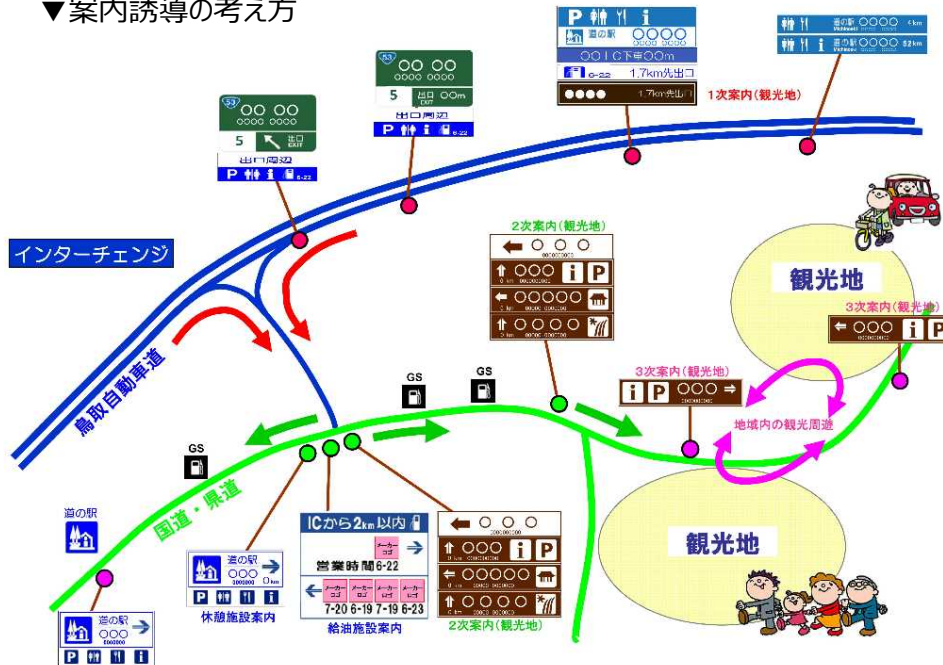
### ◆ 主な取組概要

・新直轄方式による無料区間としての整備に伴い、コスト縮減の面から休憩施設の整備がなされないことから、高速道路外に存在する各種施設への案内誘導を充実させ、道路利用者サービスの向上及び地域活性化を図る

### ◆ 協議会の役割

- ・案内誘導の考え方の改定、ガイドラインの策定
- ・案内誘導の考え方に基づく誘導施設の審査
- ・鳥取道の利活用に関する地域からの提案の検討

### ▼ 案内誘導の考え方



### ▼ 高速道路外の案内誘導標示



出典：国土交通省鳥取河川国道事務所 地域活性化のための鳥取自動車道の利活用に関する検討委員会資料

# 11 まちづくりとの連携

● 企業や定住の促進等、地域のまちづくりの課題に対し、道路整備と連携した取組を推進

## ■ 都市計画と連携した沿線の工業系土地利用の促進 (松山外環状道路 (愛媛県))

### ◆ 実施主体

- ・国、県、市

### ◆ 主な取組概要

- ・都市計画手法を活用した土地利用の促進
- ・沿線市町のHPによる、企業進出の手助けとなる道路整備状況や効果に関する情報発信

### 1. 松山外環の整備を契機とした企業誘致の推進

#### ◆ 効果【ねらい】

- ・都市計画と連携した沿線沿いの土地利用の促進
- ・自治体のHPにある企業立地ガイドと連携した企業進出への支援

#### ◆ 実施内容と実施主体 (国・県・市)

- ・国や県から市町へ、また、行政(自治体)から民間経済団体等へ、いろいろな会議等を通じて、本手法を広く周知し、企業進出への積極的な検討を後押しする。
- ・外環周辺の市町のホームページ(例えば企業立地をガイドする箇所)において、外環の整備状況や効果を紹介するページへのリンクを設定し、企業進出の手助けとなるよう積極的な情報提供を行う。

#### ● 都市計画手法を活用した土地利用の促進

- ・市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域となっているが、市町が「地区計画」を決定すれば、開発が可能となる。

沿線沿いに、工業系を中心とした土地利用が可能

松山外環状道路の利活用が進む

沿道の工業系を中心とした土地利用が可能に!

県のホームページにある企業立地ガイドに、松山外環の整備状況を紹介し企業誘致を支援【実施済・運用中】

出典：愛媛県高規格道路等利活用検討会資料

## ■ 道路整備を活用した定住促進 (三陸沿岸道路 (青森県～岩手県))

### ◆ 事例の概要

- ・道路整備により市町村間の通勤・通学の利便性が向上し、定住促進を目的に分譲された宅地が順調に販売されている

### 【効果事例⑧】 定住促進住宅の整備、販売

- 沿線自治体では、三陸沿岸道路IC近くに定住促進を目的とした宅地を分譲、順調に販売され定住化が進んでいる
- 三陸沿岸道路の沿線市町村では他市町村への通勤通学流動が存在、全線開通により通勤時間の短縮等、通勤条件が大幅に改善

▼定住促進住宅に関する情報 (階上町・洋野町)

▼分譲チラシ (洋野町) (R4.3時点)

▼三陸沿岸道路・沿線市町村間における通勤・通学流動

資料：H27時勢調査

出典：国土交通省三陸国道事務所 三陸沿岸道路等利活用懇談会資料

# ⑫ 産業活性化に向けた取組

● 道路整備によるアクセス性向上等の効果を、積極的な情報発信や企業等に働きかけ、地域の産業活性化を促進

## ■ 自治体HPの企業立地ガイドと連携した企業進出支援 (松山外環状道路 (愛媛県))

### ◆ 実施主体

・国、県、市

### ◆ 主な取組概要

- ・都市計画手法を活用した土地利用の促進
- ・沿線市町のHPによる、企業進出の手助けとなる道路整備状況や効果に関する情報発信

### 1. 松山外環の整備を契機とした企業誘致の推進

#### ◆ 効果【ねらい】

- ・都市計画と連携した沿線沿いの土地利用の促進
- ・自治体のHPにある企業立地ガイドと連携した企業進出への支援

#### ◆ 実施内容と実施主体 (国・県・市)

- ・国や県から市町へ、また、行政(自治体)から民間経済団体等へ、いろいろな会議等を通じて、本手法を広く周知し、企業進出への積極的な検討を後押しする。
- ・外環周辺の市町のホームページ(例えば企業立地をガイドする箇所)において、外環の整備状況や効果を紹介するページへのリンクを設定し、企業進出の手助けとなるよう積極的な情報提供を行う。

#### ● 都市計画手法を活用した土地利用の促進

- ・市街化調整区域は、市街化を抑制すべき区域となっているが、市町が「地区計画」を決定すれば、開発が可能となる。

沿線沿いに、工業系を中心とした土地利用が可能

松山外環状道路の利活用が進む



沿道の工業系を中心とした土地利用が可能に!

● 県のホームページにある企業立地ガイドに、松山外環の整備状況を紹介し企業誘致を支援【実施済・運用中】

クリック!

出典：愛媛県高規格道路等利活用検討会資料

## ■ 路線の優位性を検証し、運送事業者へPR (大洲・八幡浜自動車道 (愛媛県))

### ◆ 実施主体

- ・県、沿線自治体、商工会議所等

### ◆ 主な取組概要

- ・県内への企業進出を目的とした、地域の優位性に関する情報発信
- ・企業進出・活動の活性化を目的に、整備状況等の周知や整備効果に関する情報を発信

「新たな国土軸」の優位性の検証及びPR	九州地方をターゲットとした企業活動・企業誘致を支援	関係自治体・経済団体等への積極的な情報発信
<p>◆ 効果【ねらい】</p> <p>「新たな国土軸」の優位性の検証結果を用いてPRすることで、本自動車道により一層の利用促進を促す。</p> <p>◆ 実施内容と実施主体 (県、関係自治体、トラック協会等)</p> <p>トラック協会等の協力を得て検証を行った「新たな国土軸」の優位性を、九州地方の運送事業者や製品を出荷する企業にPRする。</p> <p>【取組事例】</p> <p>「新たな国土軸」の優位性の検証結果</p> <p>◆ 効果【ねらい】</p> <p>九州地方をターゲットに企業活動や情報発信を行い企業誘致やビジネスチャンスに繋げる。</p> <p>◆ 実施内容と実施主体 (県、関係自治体、商工会議所等)</p> <p>九州の企業を中心に、愛媛県に立地することのメリットや高い技術力を、広くイベントやHPでPRし、愛媛県への企業進出や異業種間の技術マッチングを後押しする。</p> <p>【取組事例】</p> <p>愛媛県への企業進出を後押し</p> <p>愛媛県の南予地域に立地する企業に、南予地域の優位性を以下のとおり検証した。これらの利点を広く周知し企業の進出を促進させる。</p> <p>愛媛県南予地域の優位性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①人材確保が容易</li> <li>②都市圏に比べ人件費が安い</li> <li>③九州～北販まで幅広い取引が可能</li> <li>④企業に対する自治体の手厚い支援</li> </ul> <p>九州地方をターゲットにした企業活動への支援</p> <p>愛媛県では「愛媛もどき」のづくり企業スゴ技!データベースのHPで愛媛のものづく技術や企業を紹介するほか、コンベンションや商談会の出席企業を募集するなど、企業活動の支援も行っている。</p>	<p>◆ 効果【ねらい】</p> <p>企業進出や企業活動の手助けとなるストック効果や整備状況等の情報発信を積極的に行い、企業進出・活動を支援する。</p> <p>◆ 実施内容と実施主体 (県、関係自治体等)</p> <p>インターネットやパンフレットなどによる広報、関係自治体や経済団体が参加する各種会議などを利用し、整備状況等の周知を行う。</p> <p>関係自治体や経済団体のホームページに大洲・八幡浜自動車道の整備状況や効果を紹介するページへのリンク設定を行う。</p> <p>【取組事例】</p>	

出典：愛媛県高規格道路等利活用検討会資料

## ■ 水産品・水産加工品の共同輸送による効率化 (三陸沿岸道路 (岩手県))

### ◆ 事例の概要

- ・道路整備を通じて沿線企業の連携が強化され、原料の安定確保や共同出資による新規販路拡大に展開

石巻港～八戸港までの約300kmが対象  
原料調達の大域化により生産安定化  
気仙沼の工場への仕入れ状況

県を越えた三陸沿岸エリアの連携  
タッグを組んで水産品を海外輸出  
三陸コーポレーション共同出資会社

7社共同出資

株式会社 八戸港  
株式会社 岩手県産物  
株式会社 岩手県産物  
株式会社 岩手県産物  
株式会社 岩手県産物  
株式会社 岩手県産物  
株式会社 岩手県産物

7社共同出資  
株式会社「SANRIKU」として海外市場で展開(約100品目)

輸出では不足する海外輸出の経験・ノウハウ・ブランド力を強化

出典：国土交通省三陸国道事務所 三陸沿岸道路等利活用懇談会資料